

南町田グランベリーパーク

東京都町田市



南西側より俯瞰

官民共同で取り組む「新しい暮らしの拠点」づくり
『南町田グランベリーパーク』は、東急田園都市線「南町田グランベリーパーク駅」(2019年10月1日に改称)を含む約22.2haのエリアにおいて、鉄道駅・商業施設・都市公園・都市型住宅等を一体的に再開発する「新しい暮らしの拠点」である。「南町田拠点創出まちづくりプロジェクト」と冠し、鉄道駅に直結して大規模な都市公園と商業施設が隣り合う、全国的に珍しい本エリアの立地特性を最大限に活かし、鉄道事業

者と行政が共同して駅前空間の魅力を再構築することで、人口減少・超高齢化にあっても、郊外住宅地の将来にわたる持続的な発展を果すことを目的とした官民共同プロジェクトである。
— まちのぜんぶが“パーク”となる
駅に降り立った瞬間から空とみどりをふんだんに感じる「すべてが公園のようなまち」、ここにいるだけでいつの間にか心も身体も健康になる「南町田ならではのパークライフの実現」というまちづくりコンセプトを掲げ、都市公園、商業施設、文化的活動拠点としての

パークライフ・サイト、これら3つの機能とそれを取り巻くランドスケープを連続性のあるデザインとした。
そのための基盤整備として、駅直結の商業街区と都市公園を中心として、再度の土地区画整理事業により道路・公園等の都市基盤と宅地の再配置を行い、まち全体に歩行者ネットワークを張り巡らせることで、駅からアウトモール型の商業施設を通り抜けて都市公園までを、境目を感じることなく歩きまわれるウォーカブルな駅前環境を創出した。まち全体に張り巡らされた歩行者ネットワークの要

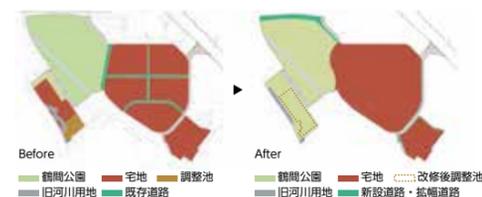


パークライフ・サイトの通路



配置図・歩行者ネットワーク 縮尺1/6,000

衝に設けられた14の屋外広場空間では、ここでしか体験できないアクティビティと憩い・ゆとりの時間を提供し多世代にとって魅力的な拠点空間を創出している。



区画整理ダイアグラム 公園(パーク)という“グリーン”を基幹としたまちが、みんなの暮らしにとってのインフラになり、このまちそのものが、人々の健康的でアクティブ暮らしを実現する「パークライフの基盤」(=グリーンインフラ)について機能始めているのである。

— ビジョンの共有と全体最適の重要性
本プロジェクトは、官民という本質的に行動目的の異なる主体間で、主旨・目的の異なる施設群を総合する「まちのビジョン」を構築し、両者で一気通貫した意思をもって推進してきた。加えて、官民の事業推進協定締結から5年でまちびらきを迎えるためには、主体間だけではなく、設計施工段階における施設間連携、全体最適を捉えた関係者一同の細やかな調整も必要不可欠であった。今後、ハードとしての基盤が整ったまちが、暮らしの拠点として根付いていくために、各

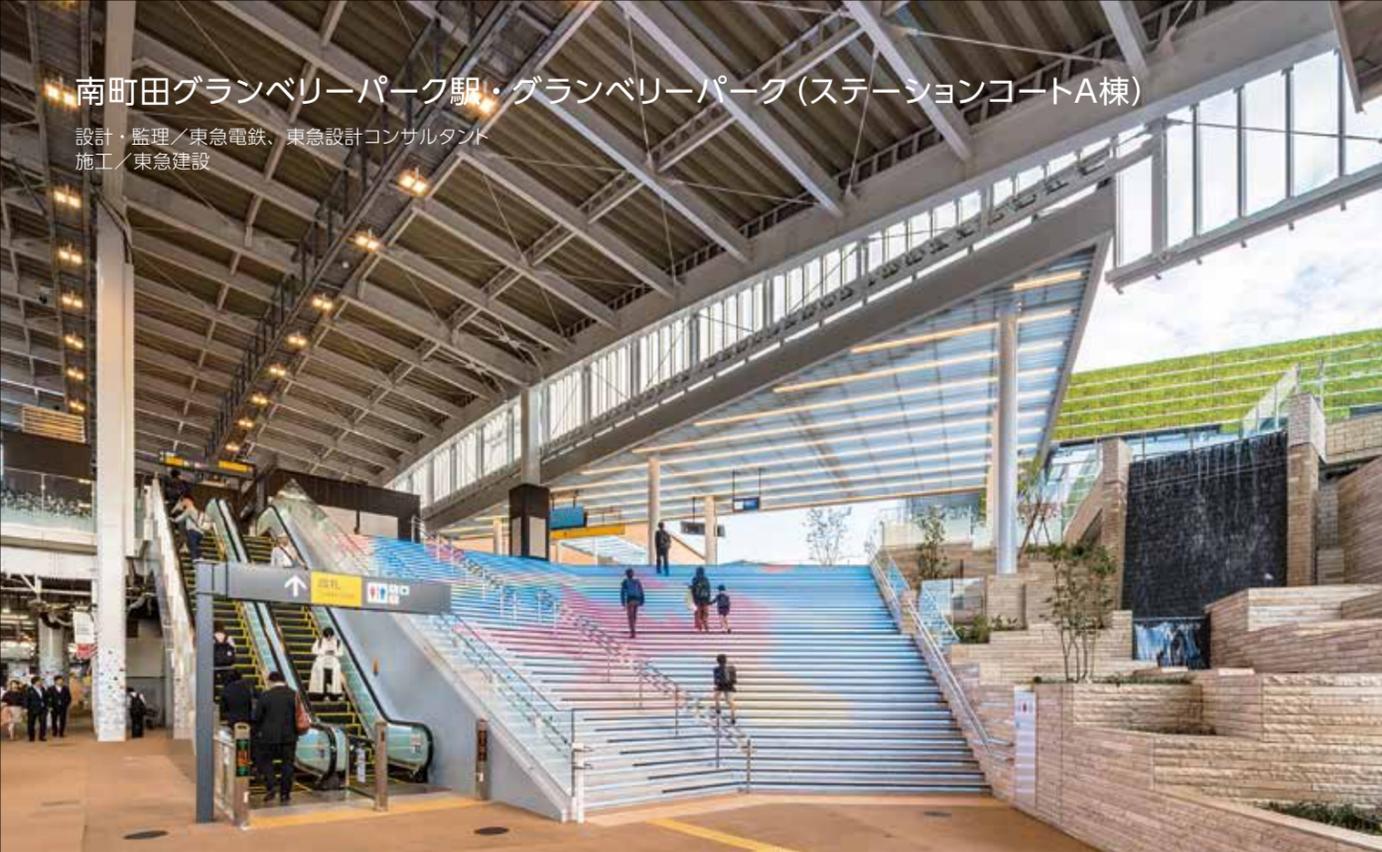
施設運営者がそれぞれ充実した運営に尽力するとともに、まちの要素をつなぎ合わせながら、継続的にまち全体の魅力化を図る「まちをみんなで楽しく使いこなす」取り組みを充実していく。(町田市・東急株式会社)



まちのがっこう(写真提供: ●●)

南町田グランベリーパーク駅・グランベリーパーク(ステーションコートA棟)

設計・監理／東急電鉄、東急設計コンサルタント
 施工／東急建設



南町田グランベリーパーク駅構内の大階段と滝

新たなまちの玄関口

南町田グランベリーパーク駅

南地域住民や来街者の起点となる駅は、今回の再開発に合わせ、安全性や利便性向上を目的とした機能的更新を行うとともに、2019年10月1日には、駅名を「南町田駅」から「南町田グランベリーパーク駅」に改称し、新たなまちの玄関口として生まれ変わった。

この駅舎は、新しいまちの玄関口として大きく2つの役割を担っている。1つ目は、線路で分断された駅の北側と南側のまちをつなぐことである。町田市からの受託事業として南北自由通路を新たに設置したことで、北口広場から駅の南側へバリアフリーで通り抜ける

施工計画

当工事は営業中の駅改良工事のため、昼夜間での施工となり、駅の利用者に不安を与えないこと、列車運行に支障をきたさないことに重点をおき、施工計画を立案し、実行した。工事の計画には2つの特徴がある。

1つ目は工事ヤードの共有である。駅改良工事敷地内のヤードで駅全体の施工をすることが難しく、隣接工区である駅前敷地計画(グランベリーパークステーションコートB棟)工事と南北自由通路設置工事(土木工事)それぞれのヤードを限られた期間借用し、大屋根・大階段・人工地盤・店舗工事を行う必要があっ

れる歩行者ネットワークを拡充した。南北自由通路に面して新たに改札を設け、まちの南北の往来を積極的かつ安全に促す計画としている。

2つ目は、まちの高揚感を駅構内から感じられるようにすることである。ホームからコンコースを開放的な大屋根で覆い、その下にダイナミックにまちへとつながる大階段を配置することで、電車を降りた瞬間からまちのにぎわいと一体感を演出している。大階段の脇には緑と水のエリアを立体的に配置し、駅と公園とにぎわいが融合した表情をつくった。南町田グランベリーパーク駅は、鉄道と商業施設と都市公園の一体事業という日本でも他

に類を見ない新たな持続可能なまちの玄関口として、永く多くの人に愛される駅になるであろう。

(本多元士／東急電鉄 金子明代／東急設計コンサルタント)



南北自由通路

た。そのため、各作業所ともに施工設計施工が一体となりクリティカルとなる工程・進捗の確認、調整を行うことで、管理工程通り工事を進めることができた。

2つ目は、駅前敷地計画工事・南北自由通路設置工事・駅改良工事の施工進捗に伴い、駅利用者の動線(通路)の切替が発生した。設定日に通路切替を行うことができなければ、駅改良工事はもちろん、他工区の工事進捗にも支障をきたすこととなるため、われわれの駅改良工事は昼夜の施工対応となった。

工事を進めるにあたり、調整すり合わせが多く困難を極めたが、自社施工という強みを活

かし、他工区との連携をスムーズに行い、事業主が要求する品質を確保した建物を引き渡すことができた。

(大沼耕治／東急建設)



施工状況

グランベリーパーク(ステーションコートB棟・セントラルコート)

設計・監理／東急設計コンサルタント
 施設デザイン／LAGUARDA.LOW ARCHITECTS
 ランドスケープデザイン／Fd Landscape、ティーハウス建築設計事務所
 施工／ステーションコートB棟：東急建設
 セントラルコート：東急・鉄建・京王・東急リニューアル建設共同企業体



グランベリープラザ夜景



ウェルカムプラザ

まちをつなぐグランベリーパーク

まちの中央に位置する「グランベリーパーク」は、2017年に惜しまれつつも閉店した「旧グランベリーモール」の跡地を再整備した低層・アウトモール型の商業施設であり、駅直結の「ステーションコート」と、鶴間公園に隣接する「セントラルコート」、道路をオーバークロスし両街区をつなぐ「グランベリーブリッジ」から構成される。歩行者ネットワークとして、駅から公園や周辺住宅地へつながる屋外通路を内包しており、商空間としての回遊性とともに、まち全体をシームレスにつなぐことが求められた。



上/オアシスプラザ夜景 左中/マーケットプラザ 右中/シアタープラザ
下/鶴間公園側よりパークプラザ方向を見る



上/グランベリープラザ 左下/アートプラザ 右下/モンベルヴィレッジ (写真提供: 東急)

「ヴィレッジ型空間」

商業施設は、歩き巡るたびに新しい発見や出会いが生まれる空間を目指し、「ヴィレッジ型空間」をコンセプトとして掲げている。歩行者通路に面して分棟式の建物を配置し、通路幅員や建物角度を個々に細やかに設定することで、シークエンスを豊かにしている。さらに、屋根を家型とし、外壁を自然調素材で仕上げ、建物ボリュームを分節化するデザインを用いることで、まち並みにも配慮した。歩行者通路の要衝には、異なったコンセプトに基づき

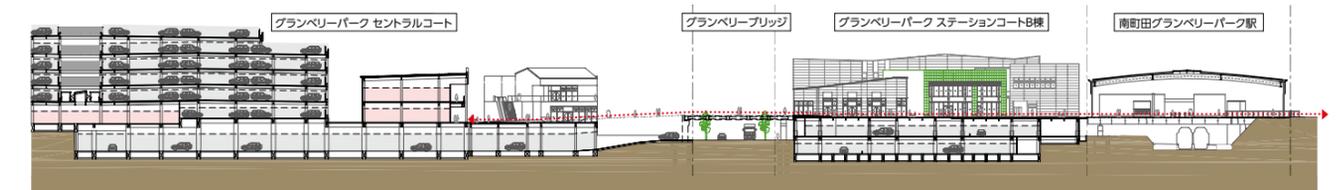
施設計画を施した7つの開放的な屋外広場を配置し、イベントを介したコミュニティの育成の場を形成した。

景観・環境に配慮した駐車場計画

大規模商業施設において駐車場計画は施設のイメージを大きく左右する。本施設では約2,000台の駐車場を整備する必要があったが、ステーションコートでは改札階より下に、セントラルコートでは広大な丘状の敷地の中心に駐車場を設けることで、車のアプローチ

レベルよりも上のレベルで歩行者ネットワークを構築し、完全な歩車分離を実現した。また、セントラルコートでは駐車場の周辺を2~3層の店舗で囲うことで、周辺からは巨大な駐車場が見えないように配慮した。これにより、大規模商業施設にも関わらず、駅を降りてから公園へ至る間に駐車場の存在を感じることなく、商業のにぎわいを楽しめる計画となっている。

(高橋ユカリ、扇孝誠、倉雄作/東急設計コンサルタント)
(LAGUARDA.LOW ARCHITECTS)



断面図 縮尺 1/1,500



パークプラザ屋上より鶴岡公園を眺める

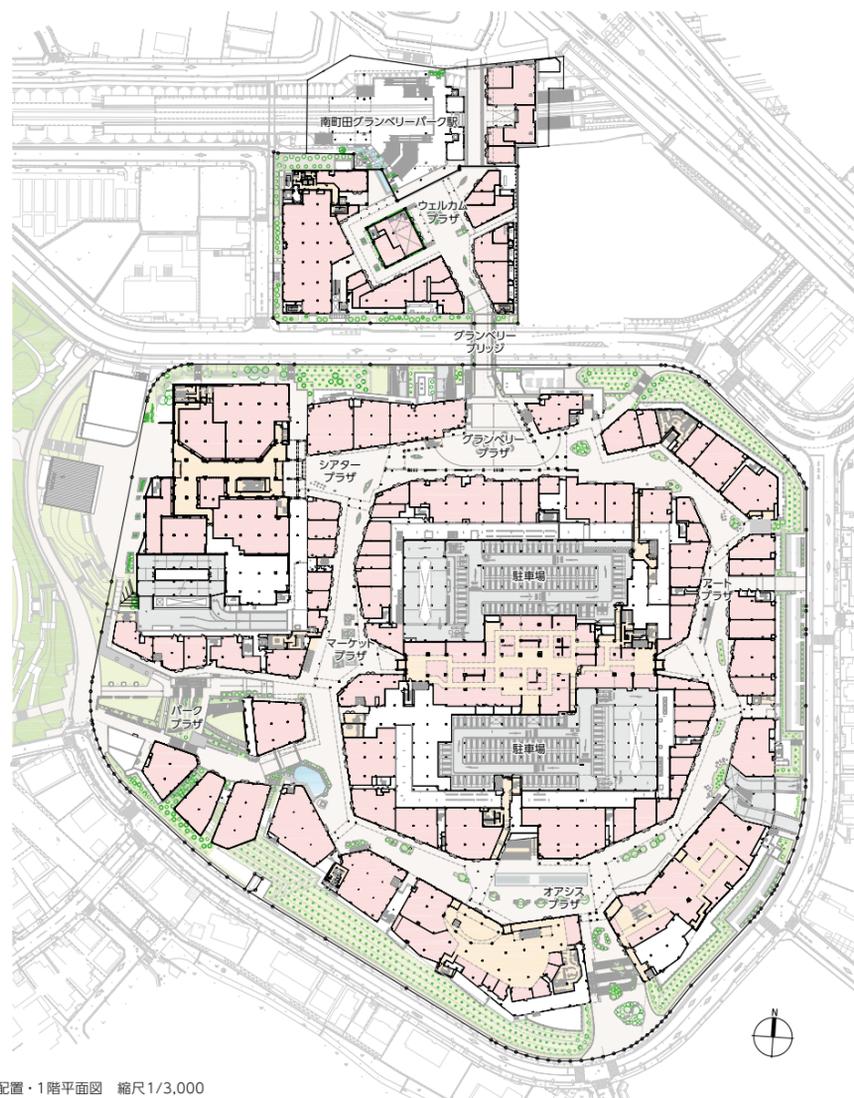
みどりとにぎわいの融合

商業施設のランドスケープデザインは「すべてが公園のようなまち」をつくるために、7つの広場とストリート空間がつながり回遊性を高める構造を持つ。駅を降りると、樹々のゲートや公園がむかえる「ウェルカムプラザ」、楽しい立体地形で公園とつながる「パークプラザ」、水のカーペットとみどりでつくるステージ「オアシスプラザ」など時間に対応して屋外空間が変化し、多様な人々と都市の自然が混じり合うような「設え」と「利活用」を一体的に計画設計している。本プロジェクトは、敷地内での雨水の貯留・浸透を促すグリーンインフラの整備や、ウォークアブルなまちづくりなどが高く評価され、国際的な環境認証 LEED ND (まちづくり部門) の予備認証でゴールドランクを取得した。

(福岡孝則 / Fd Landscape)
(梶橋 修 / ティーハウス建築設計事務所)



パークプラザ



配置・1階平面図 縮尺1/3,000



歩行者ネットワーク

施工計画

ー グランベリーパーク ステーションコート (B棟)

本工事では、駅改良工事と歩調を合わせ解体、新築工事を行なうことに重点をおいた。駅改良工事の大屋根や南北自由通路設置工事を施工するにあたり、駅前敷地をヤードとして利用した。東急田園都市線の近接工事であり、駅利用客の動線の切替えに伴う仮使用を行ないながら工事を進める必要性があったため、作業時間、施工方法等に多くの制限を強いられた。

施工計画では、インフラ等の現地調査、近接工事の検討・申請、駅改良工事と南北自

ー グランベリーパーク セントラルコート

大規模現場を施工していくために、まず動線計画が一番のキーポイントと考え、初めにエリア分けを行った。駐車場棟を2エリア(C棟北・南)、外周りにある店舗棟15棟を南北に分けて、大きく2エリア(北・南外周)とした。またそれぞれのエリアでも棟毎、基礎レベル毎で工区分けを行い、土工事においては床付けレベルが低いところから掘削を行い、地上レベルに近いエリアはストックヤードとして残しながら、基礎・基礎躯体工事を順次着手していく計画とした。

さらに、労務不足を解消するため、同一の職種も数社の協力業者を活用し、工区・棟毎で業者の振り分けを行い、同一の作業を各所で同時に進行できるように計画した。これら

由通路設置工事との取り合い検討や工程調整を行った。駅改良工事の大屋根や南北自由通路設置工事を施工するにあたり、駅前敷地をヤードとして利用するため、山留・躯体補強等の検討を行った。施工手順として、まず、駅利用客の動線を変えずに解体工事を行ない、先行工区(西側)の地下躯体、地上躯体、外装仕上げを行ない、西側へ来客者の動線を切替えた。その後駅の大屋根工事の施工、後工区の施工を順に行なった。その都度各工区の取り合い検討や工程のすり合わせ、関係者との調整が行われた。

し、あと施工とするエリアを計画した。構台は8カ所設置し、さらに鉄骨建て方時のラフターの配置も考量し、躯体スラブ上でレッカーの据付ができるように一部スラブ補強を行った。場内の動線は、一方通行とならないようにあと施工躯体を設け、建物の周囲を一周通行できるように動線計画を行った。また、場内の地盤レベル差が大きいため、構台上で鉄骨建て方を行う棟と、構台解体後に鉄骨建て方を行う棟に分ける計画とした。さらに、労務不足を解消するため、同一の職種も数社の協力業者を活用し、工区・棟毎で業者の振り分けを行い、同一の作業を各所で同時に進行できるように計画した。これらの事前計画を行った結果、最大約600

特に来客者の通路切替え、仮使用や駅のインフラの盛替えは、駅改良工事との調整が必要であり、困難を極めた。

(中村幸司 / 東急建設)



施工中の状況(先行工区)

人/日の作業員がいる際も、工事を円滑に進めることが可能となった。(近松孝浩 / 東急建設)



工区分け配置図

パークライフ・サイト (ミュージアム棟・パークライフ棟)

設計・監理 / レジファインクリエイト
ランドスケープデザイン / Fd Landscape、ティーハウス建築設計事務所
施工 / 伊佐建設



ミュージアム棟 (右) とパークライフ棟 (左) 外観

パークライフ・サイト

パークライフ・サイトは、かつて商業街区と公園を分断していた道路を再配置して新たに設けたエリアで、文字通りまちの中心に位置し、にぎわいと緑が融合する、このまちならではの文化的活動拠点である。

その核となる施設が六本木から移転した「スヌーピーミュージアム」、米カリフォルニア州

「Charles M. Schulz Museum and Research Center」唯一のサテライト館である。公園を臨む丘の広場を緩やかに囲むように、ミュージアム棟とパークライフ棟の2棟を配置した。建物外観はどちらも白色の外壁に黒色のサッシで、カリフォルニア本館を模している。

このうち、パークライフ棟は、駅・商業施設

からつながる1階がカフェとライブラリー、公園につながる地下1階が子どもクラブ(児童館)で構成されている。本棟の内装・ファニチャーにはプロジェクトで生み出された伐採材を活用し、1階エントランスのウッドブロックを配した壁面は、市民とのワークショップで作製したものである。

(北澤正登 / レジファインクリエイト)



まちライブラリー



パークライフ棟エントランス

施工計画

本工事は、2019年1月に着工し、11カ月の短工期のなか、ミュージアム棟とパークライフ棟の2棟の施工を行った。着手時はすでに商業施設の建物のほとんどが上棟しており、足場も無く、建物周囲の外構工事を含めると、いかに工夫をして工事を進めていくかがポイントであった。

難問は、隣接する建物との施工工程が違うなか、敷地高低差も考慮したうえでの工期短縮であった。その解決として、隣地盛土を駆

体完了前に行い、躯体工事と造成工事の同時施工をすることとし、山留計画で5m高止まりのH鋼を打ちコンクリート施工前に盛土を行った。また、既成杭、鉄骨、各工種のメーカー・協力業者の尽力により工期短縮が図られたことで無事にオープンに繋げることができた。

工期内に無事に引渡しができ、パークライフ棟で楽しそうに遊ぶ子どもの姿やミュージアムに溢れる笑顔を見られ、施工者として最高の喜びであった。

(加藤 明 / 伊佐建設)



パークライフ棟地下1階床施工状況

南町田グランベリーパーク駅・

グランベリーパーク (ステーションコートA棟) データ

所在地 東京都町田市鶴間3-3-2

主要用途 駅舎、物販店舗、飲食店舗

建築主 東急電鉄株式会社

設計・監理 東急電鉄、東急設計コンサルタント

東急電鉄

担当/建築: 織茂宏彰、西田正志、山口洋史、本多元士、児玉莉子 **電気**: 中村正宏、鈴木昌実、加藤凌太、小松茂大、佐藤智仁、黒部兼太、西澤康秀、加藤慎也 **土木**: 丹代友幸、白田英明、佐藤武瑠
運輸: 隈部琢也、坂本弘明
東急設計コンサルタント
担当/総括: 伏野隆、渋川克也 (設計)、岡 彩実 (監理)
建築: 金子明代 **構造**: 渡辺浩樹、池澤 誠* **設備**: 川村 督 (店舗電気)、齊藤星平 (空調・衛生) **土木**: 吉田 肇、加藤美由紀* (*元所員)

施設デザイン LAGUARDALOW ARCHITECTS

(ラグアルダロウ・アーキテクト)

担当/パプロ・ラグアルダ、重松 健、クリストファー・パワーズ

施工 東急建設

担当/大沼耕治、定形共在、矢野 哲、佐藤正貴、深野義明

設計期間 2016年4月~2017年5月

工事期間 2017年5月~2019年12月

【建築概要】

敷地面積 4,894.57㎡

建築面積 3,472.67㎡

延床面積 1,483.70㎡

店舗面積 691.43㎡

店舗数 5店舗

建ぺい率 70.95% (許容80%)

容積率 30.32% (許容400%)

構造規模 S造 地上2階

最高高さ 19.03m

地域地区 商業地域、防火地域、南町田駅周辺地区地区計画

【設備概要】

電気設備 受電方式/高圧受電 1回線 6.6kV 50Hz (店舗) 変圧器容量/単相100kVA×1、75kVA×1 動力300kVA×1 (店舗)

空調設備 空調方式/空冷ヒートポンプパッケージ 熱源/個別熱源方式 (電気)

衛生設備 給水/商業: 受水槽+加圧給水方式 駅: 直結直圧方式 (一般系統)、雨水を原水とした中水利用 (トイレ洗浄水系統) 給湯/個別給湯方式 (電気) 排水/汚水雑排水合流方式 厨房排水は分流

防災設備 消火/屋内消火栓設備、誘導灯、非常照明、自動火災報知設備 排煙/自然排煙

【主な外部仕上げ】

屋根 アルミ亜鉛合金メッキ鋼板折板葺

外壁 押出成形セメント板サイディングの上、アルミパネル貼

建具 アルミ、スチール、ステンレス建具

撮影/川澄・小林研二写真事務所



金子 明代……かねこ あきよ
1979年埼玉県生まれ。2002年日本大学生産工学部建築工学科卒業。2016年東急設計コンサルタント入社。現在、同社建築設計本部所属



大沼 耕治……おおぬま こうじ
1964年生まれ。1987年浅野工学専門学校建築工学科卒業、1990年東急建設入社。東急建設 都市開発支店 鉄道建築部 南町田駅改良工事 (建築工事) 作業所長

グランベリーパーク データ

所在地

ステーションコート B棟 東京都町田市鶴間3-3-1

セントラルコート 東京都町田市鶴間3-4-1外、3-4-2

主要用途 物販店舗、飲食店舗、映画館、駐車場等

建築主 東急株式会社、株式会社東急レクリエーション

総合監修 東急株式会社

担当/貝田 崇、澤田 純、今井忠行、中山 仁、松井拓哉、加藤英理子、長谷昌明、秋山弘樹、久家あかね、須原 壮

設計・監理 東急設計コンサルタント

担当/総括: 吉田 博、高橋ユカリ、佐藤彰浩

建築: 大室淳一、濱奈津子、扇芝孝誠、倉 雄作、池田汐里、村本 等 (元所員)、赤坂繁和*、王森*、石塚 迅* **構造**: 渡辺浩樹、福田浩行*、村井英一*、榎本孝司 (元所員) (*設計のみ)
都市計画: 井手 徹、近藤陽次、林佐奈美、大場雅仁 (元所員) **基盤**: 澤田 誠、泉澤 隆、原田 勲 **土木**: 吉田 肇、林 徳俊、大場雅仁 (元所員) **環境アセスメント**: 須之内栄治、榎本英樹 **積算**: 山下裕久

パピリオン、施設サイン設計・監理 丹青社

担当/鈴木 誠、久光麻紀、堀尾奈央、白滝英雄、神津康行、久鍋太郎、須川悠理子、土門真士、小熊理陽、渡辺 武

施設デザイン LAGUARDALOW ARCHITECTS

(ラグアルダロウ・アーキテクト)

担当/パプロ・ラグアルダ、重松 健、クリストファー・パワーズ

ランドスケープデザイン

Fd Landscape **担当/福岡**孝則

ティーハウス建築設計事務所

担当/櫻橋 修、渡辺 陵、楠目晃大、武田千博 (元所員)

植栽計画: 板垣範彦 (いきものランドスケープ)

照明デザイン 岡安泉照明設計事務所、パナソニック

岡安泉照明設計事務所 **担当/岡安** 泉

パナソニック **担当/小池**玲子

施工

ステーションコート B棟 東急建設

担当/中村幸司、酒井光紀

セントラルコート

東急・鉄建・京王・東急リニューアル建設共同企業体

担当/近松孝浩、西本 浩、鈴木信輝、高須賀正宏、馬場久典、佐久間富裕、大江裕隆、細川幸男、島田将人、笠井陽一郎、土岐聖也、小池一吉*、飯島千春*、相川雅和**、増田卓也**、西村茂樹** (*ワンダーシッター、**テナント内装A工事)

設計期間 2013年5月~2017年3月

工事期間 2017年5月~2019年10月

【建築概要】

◆ステーションコート B棟

敷地面積 72,32.35㎡

建築面積 6,271.51㎡

延床面積 16,412.57㎡

店舗面積 4,818.50㎡

店舗数 33店舗

建ぺい率 86.71% (許容100%)

容積率 179.43% (許容400%)

構造規模 S造一部RC造 地下1階、地上3階

最高高さ 18.58m

階高 店舗4.5m、5.0m 駐車場4.2m、3.85m

主なスパン 8.4m×8.4m

道路幅員 南側18m 西側10m

駐車台数 240台

地域地区 商業地域、防火地域、南町田駅周辺地区地区計画

◆セントラルコート

敷地面積 76,537.52㎡

建築面積 46,448.95㎡

延床面積 134,334.82㎡

店舗面積 41,782.35㎡

店舗数 203店舗

建ぺい率 60.69% (許容100%)

容積率 138.09% (許容400%)

構造規模 S造一部RC造 地下1階、地上5階

最高高さ 23.20m

階高 店舗4.5m 駐車場3.425m

主なスパン 8.2m×8.2m

道路幅員 北側18m 東側15m 南側10m

駐車台数 1,833台

地域地区 商業地域、防火地域、南町田駅周辺地区地区計画

【設備概要】

◆ステーションコート B棟

電気設備 受電方式/高圧受電 1回線受電方式6.6kVA 50Hz 変圧器容量/高圧変圧器4,000kVA 予備電源/低圧非常用発電機 300kVA×1台 サービスタンク1,950L 燃料 A重油

空調設備 空調方式/空冷ヒートポンプパッケージ 熱源/個別熱源方式 (電気)

衛生設備 給水/受水槽+加圧給水方式 (一般系統・濯水系統) 給湯/個別給湯方式 排水/汚水雑排水合流方式 厨房排水は分流

防災設備 消火/スプリンクラー消火設備 (閉鎖型)、屋内消火栓設備、連結送水管設備、泡消火設備 (閉鎖型、移動式粉末消火設備)、厨房フード消火 排煙/自然排煙、一部機械排煙 その他/誘導灯、非常照明、自動火災報知設備、非常放送設備、火災通報装置、避難器具

昇降機 EV×3基

◆セントラルコート

電気設備 受電方式/特別高圧受電 本線予備線2回線受電方式 66kV 50Hz 変圧器容量/特高変圧器7,000kVA×2台 予備電源/高圧非常用発電機 1,000kVA×1台 地下タンク16,000L 燃料 A重油

空調設備 空調方式/一般系統: 空冷ヒートポンプパッケージ 店舗系統: 空冷ヒートポンプパッケージ+一部外調機 熱源/個別熱源方式 (電気)

衛生設備 給水/受水槽+加圧給水方式 (一般系統・ワンダーシッター系統・濯水系統) 給湯/個別給湯方式 排水/汚水雑排水合流方式 厨房排水は分流

防災設備 消火/スプリンクラー消火設備 (閉鎖型、放水型)、屋内消火栓設備、連結送水管設備、泡消火設備 (閉鎖型、移動粉末消火設備)、厨房フード消火、不活性ガス消火設備 排煙/自然排煙、一部機械排煙 その他/誘導灯、非常照明、自動火災報知設備、非常放送設備、避雷設備、避難器具

昇降機 EV×27基、エスカレーター×20基

【主な外部仕上げ】

◆ステーションコート B棟

屋根 アスファルト防水コンクリート押え・金属屋根縦ハゼ葺

外壁 ALC、押出し成形セメント板

建具 アルミ、スチール、ステンレス建具

外構 磁器質タイル

◆セントラルコート

屋根 アスファルト防水コンクリート押え、金属折板屋根、金属屋根縦ハゼ葺

外壁 ALC、押出し成形セメント板

建具 アルミ、スチール、ステンレス建具

外構 透水性PC平板、ウッドデッキ

撮影/川澄・小林研二写真事務所



扇芝 孝誠……おぎしば たかまさ
1986年大阪府生まれ。2009年大阪市立大学工学部建築学科卒業、2011年同大学大学院修士課程修了後、東急設計コンサルタント入社。現在、同社建築設計本部所属



倉 雄作……くら ゆうさく
1988年東京都生まれ。2011年武蔵工業大学工学部建築学科卒業、2013年東京都市大学大学院修士課程修了後、東急設計コンサルタント入社。現在、同社建築設計本部所属



PABLO LAGUARDA……パブロ ラグアルダ
1950年ウルグアイ・モンテビデオ生まれ。1969年ウルグアイ大学建築学卒業、1978年ウルグアイ大学大学院建築・都市デザイン修士課程修了。2000年ラグアルダ・ロウアーキテクト設立。現在、同社代表取締役社長



福岡 孝則……ふくおか たかのり
1974年神奈川県生まれ。1999年東京農工大学大学院造園学専攻修了、2003年ペンシルバニア大学芸術系大学院ランドスケープ専攻修了。2012年～Fd Landscape主宰。2017年～東京農工大学 造園科学科 准教授



槻橋 修……つきはし おさむ
1968年富山県生まれ。1991年京都大学建築学科卒業、1998年東京大学大学院博士課程退学。2003年～ティーハウス建築設計事務所主宰、2009年～神戸大学大学准教授。2017年より神戸大学減災デザインセンター副センター長



中村 幸司……なかむら こうじ
1961年生まれ。1982年石川工業高等専門学校建築学科卒業、同年東急建設入社。東急建設 都市開発支店 第二建築部 南町田プロジェクト 商業施設新築工事作業所（駅前敷地）作業所長



近松 孝浩……ちかまつ たかひろ
1967年生まれ。1990年金沢工業大学工学部建築学科卒業、同年東急建設入社。東急・鉄建・京王・東急リニューアール建設共同企業体 南町田プロジェクト 商業施設新築工事（中央敷地）作業所長

パークライフ・サイト(ミュージアム棟・パークライフ棟)
データ

所在地 東京都町田市鶴間3-1-1

主要用途 美術館、事務所、飲食店、集会場

建築主 株式会社 ソニー・クリエイティブプロダクツ

設計・監理 レジファインクリエイト

担当/総括・建築・構造・設備：北澤正登

構造：木下滋雄（ペトラ建築設計）

設備：藤井正一郎（サト商ビルフレックス）

ランドスケープデザイン

Fd Landscape

担当/福岡孝則

ティーハウス建築設計事務所

担当/槻橋 修、渡辺 陵、楠目晃大、武田千博（元所員）

植栽計画：板垣範彦（いきものランドスケープ）

施工 伊佐建設

担当/加藤 明、戸塚 渉、近藤健一郎

設計期間 2018年4月～2018年11月

工事期間 2018年12月～2019年11月(ミュージアム棟)

2018年12月～2019年10月(パークライフ棟)

[建築概要]

◆ミュージアム棟

敷地面積 1,876.25㎡

建築面積 723.80㎡

延床面積 2,640.25㎡

建ぺい率 38.58%（許容98.95%）

容積率 125.44%（許容393.01%）

構造規模 S造一部RC造 地下1階、地上3階

最高高さ 19.46m

階高 地下1階：3.45m 1～3階：5.45m

主なスパン 6.0m×7.5m

道路幅員 北側18m

駐車台数 3台

駐輪台数 66台

地域地区 商業地域、第2種中高層住居専用地域、防火地域、南町田駅周辺地区地区計画

◆パークライフ棟

敷地面積 2,817.88㎡

建築面積 454.95㎡

延床面積 882.00㎡

建ぺい率 16.15%（許容80%）

容積率 31.30%（許容400%）

構造規模 S造一部RC造 地下1階、地上1階

最高高さ 9.41m

階高 4.93m

主なスパン 7.0m×6.9m

道路幅員 南側12m

地域地区 商業地域、防火地域、南町田駅周辺地区地区計画

[設備概要]

◆ミュージアム棟

電気設備 受電方式/高圧受電 本線予備線2回線 6.6kV 50Hz 変圧器容量/100kVA×2台 150kVA×2台 予備電源/低圧発電機 34kVA×1台 燃料タンク30L 軽油

空調設備 空調方式/マルチエアコン 熱源/個別熱源方式(電気)

衛生設備 給水/水道直結方式 給湯/個別給湯方式 排水/汚水雨水分流方式

防災設備 消火/屋内消火栓設備、消火器 排煙/自然排煙 その他/誘導灯、非常照明、自動火災報知設備、非常放送設備

昇降機 EV×2基

◆パークライフ棟

電気設備 受電方式/ミュージアム棟受変電設備より供給 空調設備 空調方式/マルチエアコン 熱源/個別熱源方式(電気)

衛生設備 給水/水道直結方式 給湯/個別給湯方式 排水/汚水雨水分流方式 厨房排水はグリーストラップ二次側で合流

防災設備 消火/消火設備 排煙/自然排煙 その他/誘導灯、非常照明、自動火災報知設備、非常放送設備

昇降機 EV×1基

[主な外部仕上げ]

◆ミュージアム棟

屋根 金属(ガルバリウム鋼板)二重折板屋根、一部コンクリートスラブ・シート防水コンクリート押え

外壁 ガルバリウム鋼板サンドイッチパネル

建具 アルミ、スチール建具

外構 PC平板

◆パークライフ棟

屋根 金属(ガルバリウム鋼板)縦ハゼ屋根

外壁 ガルバリウム鋼板サンドイッチパネル

建具 アルミ、スチール建具

外構 PC平板



北澤 正登……きたざわ まさと
1967年長野県生まれ。1989年日本大学理工学部建築学科卒業後、大京、住友不動産を経て、2008年レジファインクリエイト設立 主査。現在、レジファインクリエイト代表取締役



加藤 明……かとう あきら
1972年生まれ。現在、伊佐建設 東京支店 建築部 次長

協力会社
(当社記入欄)